

2023/1～2023/3 にっしん景況レポート

2023/4

Vol.
28



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2023年1～3月の景気の現状と2023年4～6月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈 調査概要 〉

1. 調査対象期間 : 2023年1～3月の実績(3月については予想)
2023年4～6月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の361社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今 期 = 2023年1～3月
前 期 = 2022年10～12月
前年同期 = 2022年1～3月
来 期 = 2023年4～6月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	151	50	21	17	25	18	20
三木地区	57	17	12	6	8	10	4
神戸地区	153	24	24	17	40	25	23
業種合計	361	91	57	40	73	53	47

●今期の景況

今期(2023年1月～3月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲14.7となり、前期(2022年10月～12月)に比べ8.1ポイント低下した。売上額判断D.I.は▲7.2となり、前期と比べて16.1ポイント低下した。収益判断D.I.は▲20.2となり、前期と比べて20.2ポイント低下した。

●来期の見通し

来期(2023年4月～6月)の予想業況判断D.I.は▲13.3となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	10	57	174	105	15	361
回答割合	2.8%	15.8%	48.2%	29.1%	4.2%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 18.560\% - 33.241\% \div \text{▲}14.7$$

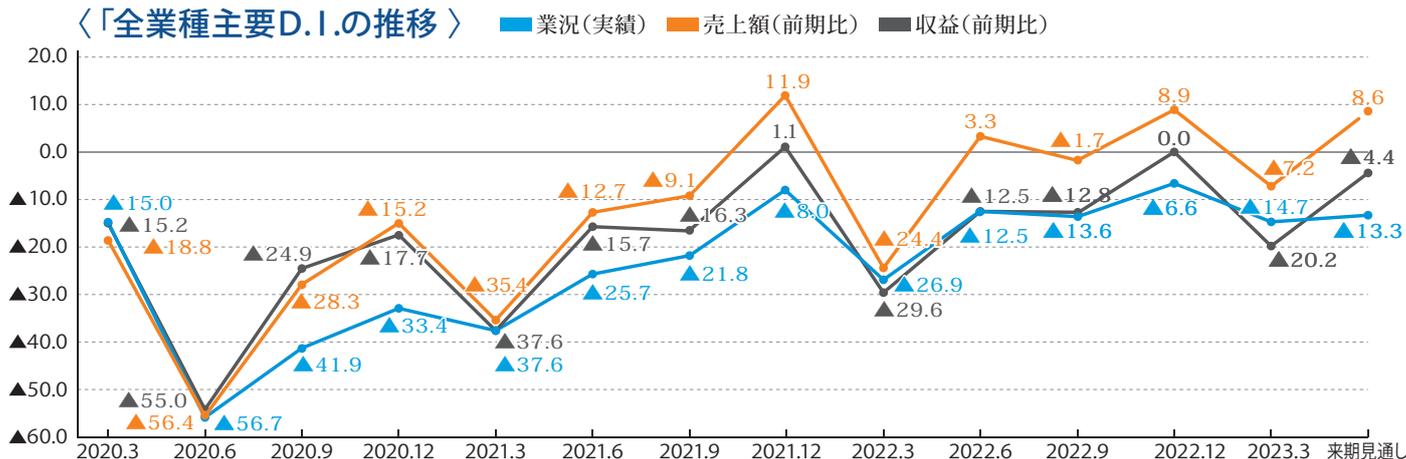
〈2023年1～3月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲17.2	▲28.0	▲9.5	▲47.1	4.0	▲5.6	▲10.0
三木地区	▲7.0	▲29.4	▲16.7	▲16.7	12.5	10.0	50.0
神戸地区	▲15.0	▲8.3	▲33.3	11.8	▲25.0	▲20.0	0.0
全地区	▲14.7	▲23.1	▲21.1	▲17.5	▲11.0	▲9.4	0.0

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲6.6	▲14.7	▲13.3	販売価格(前期比)	30.2	26.9	28.3
売上額(前期比)	8.9	▲7.2	8.6	仕入価格(前期比)	70.6	63.4	58.3
売上額(前年同期比)	7.2	1.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲4.7	▲9.4	▲7.2
収益(前期比)	0.0	▲20.2	▲4.4	人手不足(過剰-不足)	▲38.6	▲36.0	▲36.2
収益(前年同期比)	▲8.6	▲11.6	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲23.1となり、前期実績と比して24.2ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲18.7、収益判断D.I.は▲30.8となり、前期実績と比してそれぞれ30.8ポイント、33.0ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲8.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲24.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。業況、売上額、収益、資金繰り判断D.I.において前期実績と比してマイナスに転換した。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲28.6となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲14.3、予想収益判断D.I.は▲20.9となり、売上額および収益についても低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	1.1	▲23.1	▲28.6	販売価格(前期比)	30.8	30.8	30.8
売上額(前期比)	12.1	▲18.7	▲14.3	仕入価格(前期比)	76.9	62.6	53.8
売上額(前年同期比)	14.3	▲8.8	—	資金繰り(楽-苦)	4.4	▲8.8	▲11.0
収益(前期比)	2.2	▲30.8	▲20.9	人手不足(過剰-不足)	▲35.6	▲33.3	▲28.9
収益(前年同期比)	1.1	▲24.2	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲21.1となり、前期実績と比して17.6ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲8.8、収益判断D.I.は▲21.1となり、前期実績と比してそれぞれ31.6ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は15.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲15.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲15.8と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は24.6、予想収益判断D.I.は3.5となり、売上額および収益については改善する見通しである企業の割合が多かった。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲3.5	▲21.1	▲15.8	販売価格(前期比)	45.6	56.1	43.9
売上額(前期比)	22.8	▲8.8	24.6	仕入価格(前期比)	68.4	63.2	53.6
売上額(前年同期比)	24.6	15.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲5.3	▲15.8	▲7.0
収益(前期比)	10.5	▲21.1	3.5	人手不足(過剰-不足)	▲19.3	▲19.6	▲23.2
収益(前年同期比)	▲1.8	▲15.8	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比して7.5ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲17.5、収益判断D.I.は▲27.5となり、前期実績と比してそれぞれ32.5ポイント、37.5ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は0.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲10.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は変わらず、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲10.0となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は20.0、予想収益判断D.I.は7.5となり、売上額および収益については改善する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲10.0	▲17.5	▲10.0	販売価格(前期比)	42.5	37.5	42.5
売上額(前期比)	15.0	▲17.5	20.0	仕入価格(前期比)	67.5	60.0	70.0
売上額(前年同期比)	▲7.5	0.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲15.0	▲15.4	▲23.1
収益(前期比)	10.0	▲27.5	7.5	人手不足(過剰-不足)	▲35.0	▲27.5	▲27.5
収益(前年同期比)	▲10.0	▲10.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲11.0となり、前期実績と比して6.8ポイント改善した。

売上額判断D.I.は▲4.1、収益判断D.I.は▲23.3となり、前期実績と比してそれぞれ9.6ポイント、15.1ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は16.4、収益判断D.I.の前年同期比は2.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲4.1となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は20.5、予想収益判断D.I.は2.7となり、売上額および収益については改善する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲17.8	▲11.0	▲4.1	販売価格(前期比)	23.3	12.3	19.2
売上額(前期比)	5.5	▲4.1	20.5	仕入価格(前期比)	68.5	64.4	58.9
売上額(前年同期比)	4.1	16.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲21.9	▲20.5	▲11.0
収益(前期比)	▲8.2	▲23.3	2.7	人手不足(過剰-不足)	▲60.3	▲56.2	▲57.5
収益(前年同期比)	▲20.5	2.7	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲9.4となり、前期実績と比して3.8ポイント改善した。

売上額判断D.I.が▲5.7、収益判断D.I.が▲15.1となり、前期実績と比してそれぞれ1.9ポイント、5.7ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲7.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲11.3となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多かった。

資金繰り判断D.I.は3.8となり、前期実績と比してプラスに転換した。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲20.8となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は0.0、予想収益判断D.I.は▲17.0となり、売上額は横ばいで、収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲13.2	▲9.4	▲20.8	販売価格(前期比)	5.7	▲5.7	▲3.8
売上額(前期比)	▲3.8	▲5.7	0.0	仕入価格(前期比)	79.2	69.8	58.5
売上額(前年同期比)	1.9	▲7.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.9	3.8	3.8
収益(前期比)	▲9.4	▲15.1	▲17.0	人手不足(過剰-不足)	▲50.9	▲52.8	▲56.6
収益(前年同期比)	▲22.6	▲11.3	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して2.1ポイント低下した。

売上額判断D.I.は19.1、収益判断D.I.は6.4となり、前期実績と比してそれぞれ19.1ポイント、8.5ポイント改善した。また、売上額判断D.I.および収益判断D.I.の前年同期比は▲6.4となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多かった。

● 来期の見通し

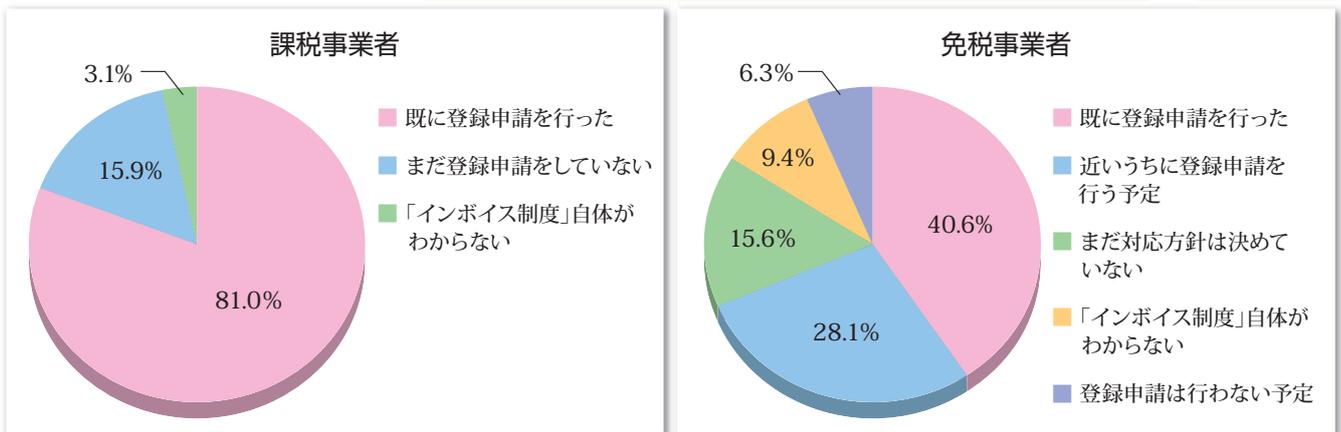
来期の予想業況判断D.I.は10.6となり、業況は改善すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は14.9、予想収益判断D.I.は10.6となり、売上額および収益についても改善する見通しである企業の割合が多かった。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	2.1	0.0	10.6	販売価格(前期比)	38.3	34.0	42.6
売上額(前期比)	0.0	19.1	14.9	仕入価格(前期比)	56.5	59.6	61.7
売上額(前年同期比)	▲4.3	▲6.4	—	資金繰り(楽-苦)	10.6	4.3	6.4
収益(前期比)	▲2.1	6.4	10.6	人手不足(過剰-不足)	▲23.4	▲17.4	▲17.0
収益(前年同期比)	0.0	▲6.4	—				

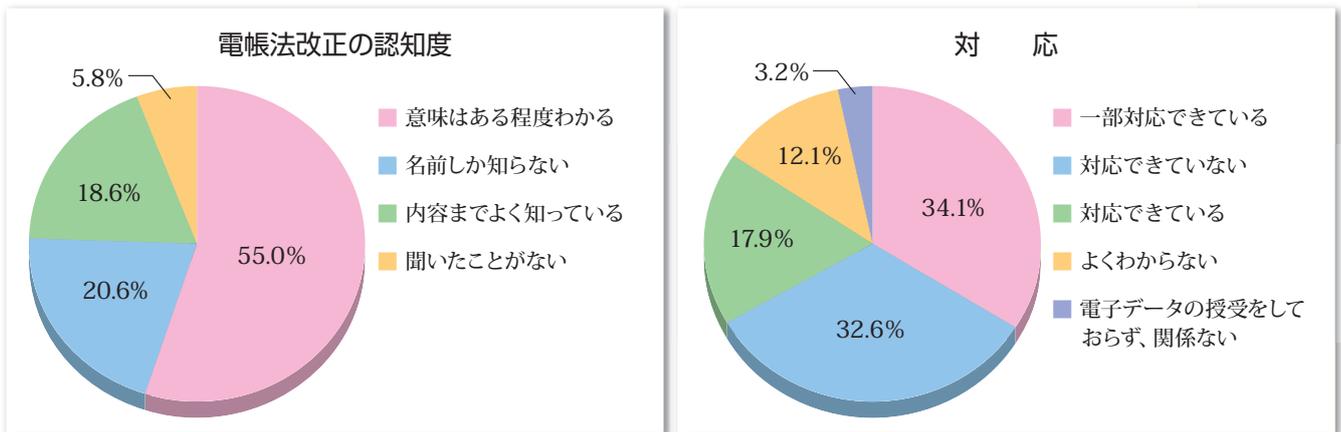
特別調査：「中小企業におけるデジタル化への対応について」

◎ ～インボイス制度（適格請求書等保存方式）における登録申請について～



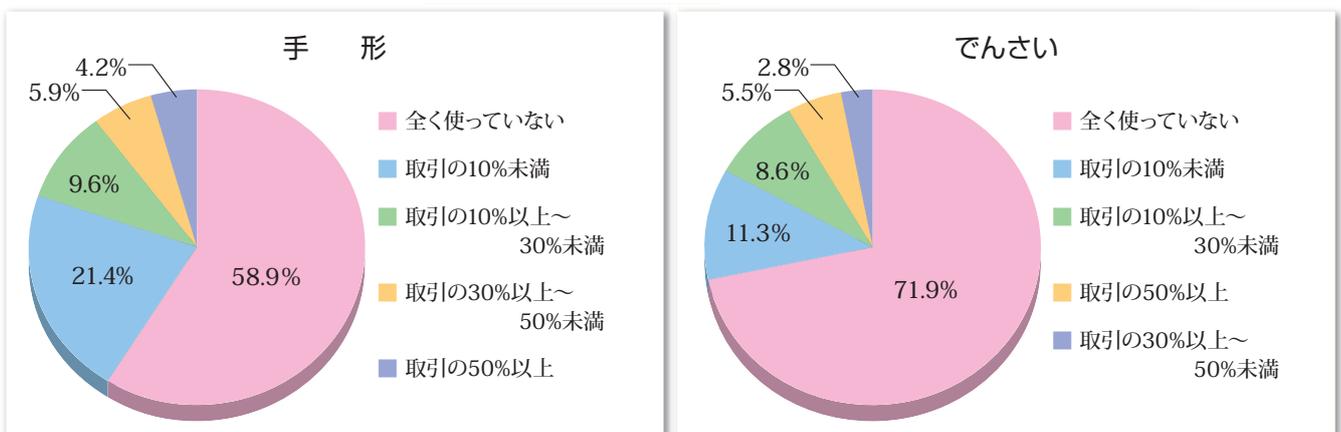
インボイス制度における登録申請については、課税事業者においては「既に登録申請を行った(81.0%)」の回答数が最も多く、全体の8割を占めた。免税事業者においては「既に登録申請を行った(40.6%)」が最も多く、次いで「近いうちに登録申請を行う予定(28.1%)」、「まだ対応方針は決めていない(15.6%)」、「インボイス制度自体がわからない(9.4%)」、「登録申請は行わない予定(6.3%)」となった。

◎ ～電子帳簿保存法（電帳法）の改正に関する認知度について～



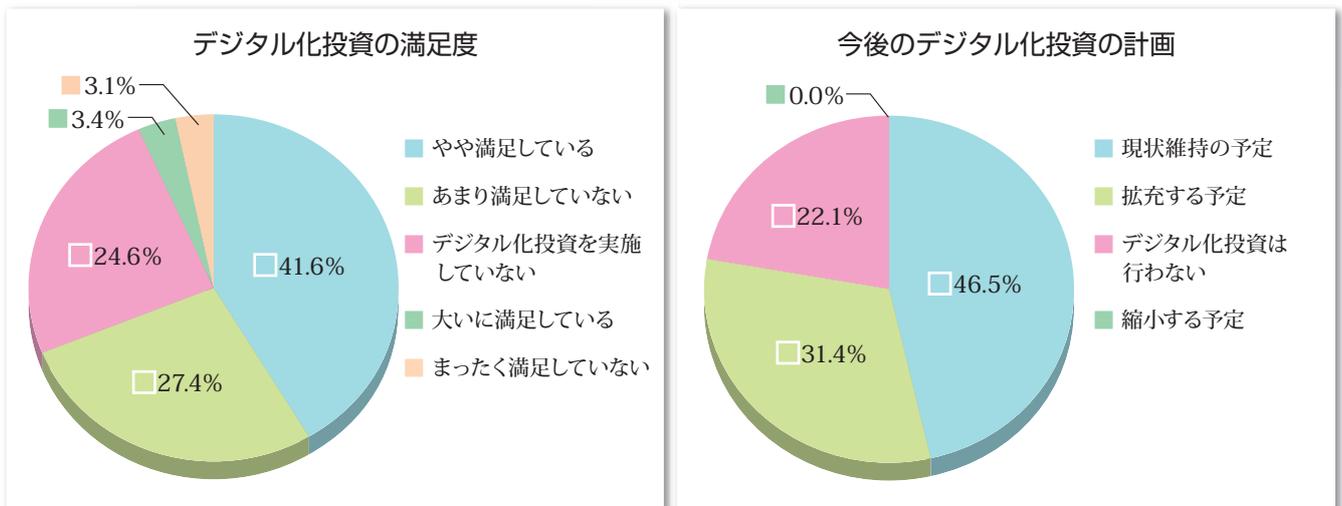
電帳法改正の認知度については、「意味はある程度わかる(55.0%)」の回答数が最も多く、「内容までよく知っている(18.6%)」と合わせて全体の7割以上の認知度があった。改正に伴う対応については、「一部対応できている(34.1%)」の回答数が最も多く、「対応できている(17.9%)」と合わせて全体の5割以上が対応を進めている結果となった。

◎ ～企業間での資金決済における、手形・でんさいの利用について～



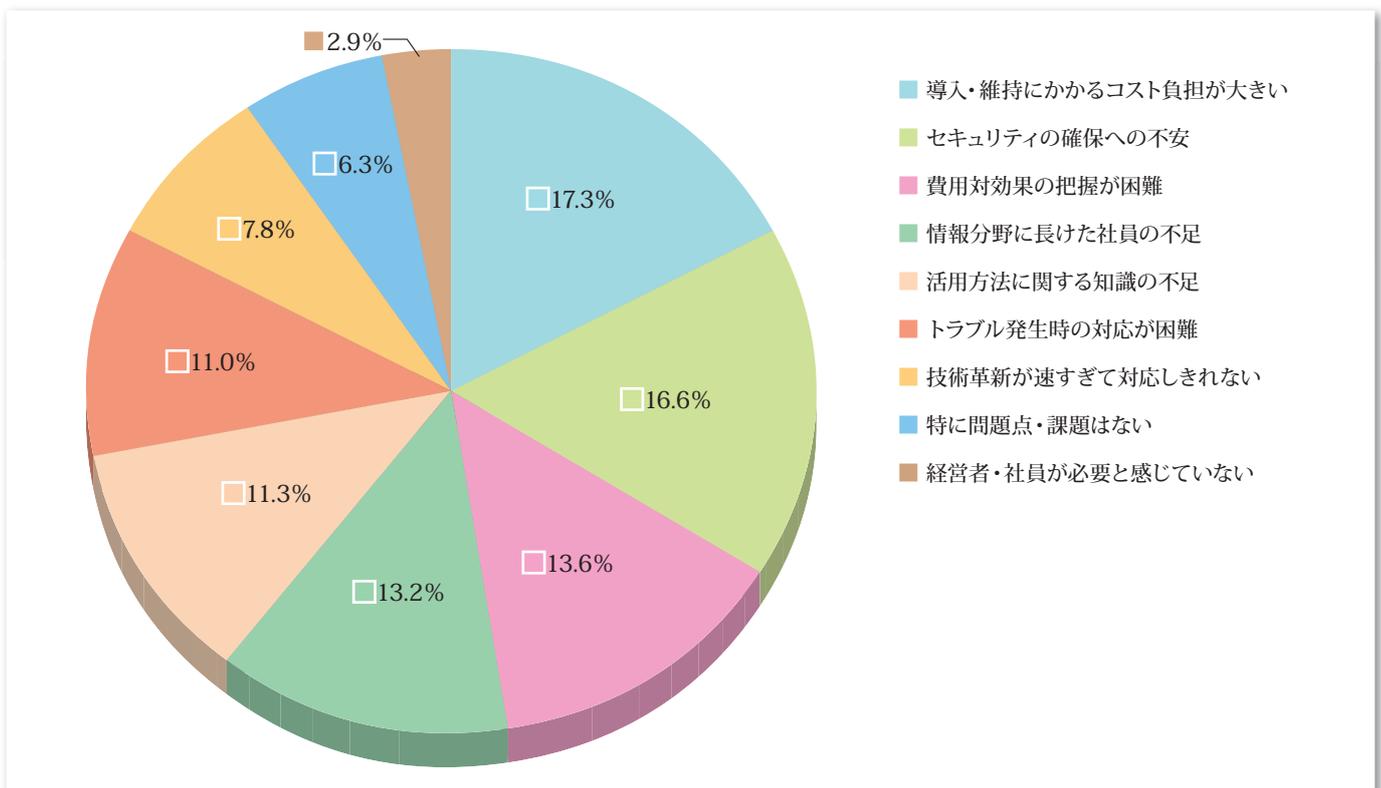
資金決済における手形の利用割合については、「全く使っていない(58.9%)」の回答数が最も多く、「取引の10%未満(21.4%)」と合わせて全体の8割がほぼ利用していない状況であった。でんさいの利用については、「全く使っていない(71.9%)」の回答数が最も多く、「取引の10%未満(11.3%)」と合わせて、手形同様に全体の8割がほぼ利用していない状況であった。

◎ ～デジタル化投資の費用対効果に対する満足度および今後の計画について～



デジタル化投資の費用対効果に対する満足度については、「やや満足している(41.6%)」が最も多く、次いで「あまり満足していない(27.4%)」、「デジタル化投資を実施していない(24.6%)」、「大いに満足している(3.4%)」、「まったく満足していない(3.1%)」の順となった。今後のデジタル化投資の計画については、「現状維持の予定(46.5%)」が最も多く、次いで「拡充する予定(31.4%)」、「デジタル化投資は行わない(22.1%)」となり、「縮小する予定」と回答した企業はなかった。

◎ ～デジタル化を進めるに際しての問題点・課題について～



デジタル化を進めるに際しての問題点・課題については、「導入・維持にかかるコスト負担が大きい(17.3%)」が最も多く、次いで「セキュリティの確保への不安(16.6%)」、「費用対効果の把握が困難(13.6%)」、「情報分野に長けた社員の不足(13.2%)」、「活用方法に関する知識の不足(11.3%)」、「トラブル発生時の対応が困難(11.0%)」、「技術革新が速すぎて対応しきれない(7.8%)」、「特に問題点・課題はない(6.3%)」、「経営者・社員が必要と感じていない(2.9%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「土曜創業相談会」を実施します!

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和5年 5月13日(土)13:00～17:00
②令和5年 6月10日(土)13:00～17:00
③令和5年 7月 8日(土)13:00～17:00
- 会 場：明石商工会議所5階会議室
- 参加費：無 料 ●定 員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します!

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和5年 5月15日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 鈴蘭台支店
②令和5年 6月19日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 加古川支店
③令和5年 7月10日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 明石駅前支店
- 参加費：無 料 ●定 員：各日程3組(ご相談時間1組75分)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



このたびは、第28回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで